学校教育目標
心ゆたかな子
考える子
たくましい子

川越市立広谷小学校 学校だより

笑顔かがやく　活力あふれる広谷小

令和４年６月１日（水）

自ら学び、自ら考え、自ら行動

校長　浅見　久江

１学期の折り返し地点を迎えました。子供たちは落ち着いた態度で学習に取り組み、学級や学校全体の場で積極的に活動しています。学校の教育活動全体で、児童集会や委員会活動、クラブ活動などの様々な活動の機会を捉えて、子供たちの出番を多くつくるようにしています。その経験を通して、子供たちの自信や意欲をさらに高め、「自ら学び、考え、行動する力」を育てていきたいと考えています。どうしたらできるか様々な視点で考えたり、やってみて修正したり、仲間と考えを出し合ったり、力を合わせて進めたりする経験を大事にしていきたいと思います。

第１回児童集会は、各委員会の委員長さんが、目標や活動内容について発表しました。堂々とした話し方が立派で、全校の手本となる姿でした。

第２回児童集会は、計画委員会がクイズ形式で仕事内容を伝え、全校に協力を呼びかけました。広谷小の中心となって活動するという自覚が伝わる発表でした。

～命の授業～

５月３１日に、　　大学産婦人科医師で名細地区子供サポート委員の　　先生を講師としてお招きし、６年生の命の授業①を実施しました。「個別の性」を尊重すること、「一人一人の命の重さ」について、医師の立場から子供たちへ率直にお話しいただきました。命を大切にすることは、自他を尊重する行動をすることだと学べた時間になったと思います。３学期に、４年生と６年生２回目の授業を予定しています。

頭と心を耕す読書

読書指導も今年度力を入れている取組みの一つです。読書は頭と心を耕します。自分のペースで、文字や絵から創造を広げて楽しんだり、新しい知識を得たり、熟考したりできるのは、読書の魅力だと思います。子供たちにその魅力を味わってほしいと思っています。

そこで、全校児童が読書マラソンカード１枚以上達成（１枚で３０冊の記録が書けます。）を目指して、毎日の読書に取り組んでいます。少しでも子供たちの励みになればと思い、読書マラソンカードが１枚終わったら、校長室にカードを持ってきてもらっています。これまで、低学年を中心におよそ５０人がカードを提出しています。

様々な本との出会いを楽しみ、頭と心を耕してほしいと願っています。

樹木剪定
ありがとうございました

５月２８日（土）に、子供サポート委員会の呼びかけで、地域の方々が学校応援団の活動として校庭の樹木剪定をしてくださいました。校庭南側の樹木を伐採したり、枝を剪定したりしていただき、すっきり、見通しのよい校庭になりました。地域の方々の素晴らしいパワーを実感するとともに、子供たちを思ってくださる温かいお気持ちに触れ本当にありがたく思いました。